



TAKAO

DREIFAH IST DER SCHRITT
DER ZEIT: ZOEGERND KOMMT

TAKAO

DREIFAH IST DER SCHRITT
DER ZEIT: ZOEGERND KOMMT

TAKAO OF BLUE STEEL
ARPEGGIO OF BLUE STEEL

▶▶ **03**



TAKAO

DREIFAH IST DER SCHRITT
DER ZEIT: ZOEGERND KOMMT



TAKAO OF BLUE STEEL

▶ **03**



TAKAO OF BLUE STEEL

「わかオ」



TAKAO OF BLUE STEEL

▶ **03**

「何か…思うところがあるようね」

「さあ？覚えてないわ」

「ートじゃつまんなかったの」

「それを見極めてみたいと思わない？」

「私のコアは目覚めてしまったの…」

「幾つか…よろしいですか？総旗艦」

「なぜ…天羽琴乃をモデルに？」

「え？…」

「あんの…腹黒総旗艦め」

「あなたが我々にメンタルモデルをもたらした…」





TAKAO OF BLUE STEEL

03



TAKAO OF BLUE STEEL

KOTONOSYA 2014.08 MUTSUMI MASATO

FOG FREET REPULSE



DER SCHITT DER



TAKAO OF BLUE STEEL

KOTONOSYA 2014.08 MUTSUMI MASATO

も不明な内から、カラーイラストに挑戦するのは最高にクールな対応です。
々は評価致します。



**FOG
FREET
Vampire**



小便器に座り込むわたしの目の前に
一丁の扉の奥の男子生徒が見下ろすように立つ。

「男子…この間わたしに告って来た…」

性処理用小便器の
青樹カオよ

すでに噂で知っていたのだろう

一瞬驚きや戸惑いのような表情をみせたが
すぐに興奮に目を血走らせながらジッパーを下ろし
ズボンから男性器を急いで引き出す。

おっぱいでも、おまんこでも
ロでも好きに使って
しゃ、射精しなさいよね

硬く大きく淫靡に立ったちんぽを
わたしの顔のすぐそばまで近づけ
見せつけるように右手を添え振き出す。

鼻先にツンとした刺激臭を感じると、
わたしのいやらしいメス穴がすぐに反応し
熱くヌルヌルした愛液が溢れ出す。

まだ触られてもいないのに…
おちんぽ欲しくて、我慢できなくなっちゃうよお

男子生徒は血走った目で、
わたしのあっぱいやまんどこを
食い入るように見ながらちんぽを扱き続ける。

わたしは彼のオナベツトになっていらいらい興奮して
肉の欲望を抑えきれず
つられるように自慰をはじめてしまう。

あっ…ああ ♡

彼が大きな呻き声をあげ
わたしの顔やあっぱいに

白濁とした大量の子種を射精する。

いやらしいニオイ…
わ、わたしも
イッチャったあ ♡

精子を浴びた瞬間、
電気ショックを受けたような快感が駆け抜け
だらしなくコブしを垂らしながら
何度もイッてしまった。

やがて…



彼は射精したことでオスの支配欲に目覚めたのか
乱暴にわたしの頭を掴みつエラを強要する。

わたしに好意を抱いていたはずの年下の男子がら
性を処理するためのメス扱ひされて、
さらに興奮が高まるのを感じた。

こっぴつ
こっぴつ
こっぴつ

ぶっ
こっぴつ

おら、丁寧
しゃぶれよ

すげえエロい身体：
後でたっぷり抱いて
オしの女にしてやるからな

射精したばかりのちんぽに唾った精子を
丁寧で舌で舐めとり、さらに茎を唇で扱いて
尿道の唾液汁まで飲み下す。

するとすぐに彼のちんぽは
口の中で硬さと大きさを取り戻していった。

フェラを続ける間もわたしは自分を慰める指の動きを
止められず、それに気づいた彼は下品な笑みを
口元に浮かべながら女を支配する快楽に浸っている。



復讐のための行為から本格的なフェラチオを続けるうち、
すぐに彼の膣が快感に退けはじめる。

両手でわたしの頭を乱暴に揺さぶり
喉の奥までちんぽを突き入れ
射精する。

んんんっ ♡

んんんっ
射精するんんんっ

ぶぶぶ ♡

あまりに稚拙で一方的な行為に
気を失いそうになりながらも
大量の精子を飲み下していく。

口の中で暴発するように精子が爆ぜて
容赦なく喉の奥に濃く粘ついた
白濁液が流れ込んでくる。

しかも、息苦しさはすべて
男性に暴力的に支配される喜びへと変わり
だらしないアノ顔を晒しながら
わたしは飲精の余韻に酔いしれた。



命じられて、今度は便器に手を突き
彼にお尻を突きだすポーズでおねだりする。

中に…
膣に全部出して
やるからな！

これが青樹の…女のまんこー
吸いついてきやがる

んめめ
❤️

あっあっ
❤️

おちんぼ
❤️
うさいころめ
❤️

もう耐えられないとばかりに前戯もなく
いきなり挿入されるが、
すでにヌルヌルに濡れていたわたしの肉穴は
なんなくそれを飲み込んだ。

あらわになったわたしのおまんこを見て
すぐに彼のちんぽが
硬くいきり立つのが見えた。

おちんぽが激しく膣奥を突き、
かりが膣壁を削り取るように
擦りあげる。

ただ自分の肉欲を満たすためだけの
獣のような身勝手な男の行為にさえ
わたしは頭が真っ白になるほど感づきました。

子宮孔をこご開けるような
ひと際激しい突き上げのあと
彼は背を仰け反らせ
大量の子種を膣内に射精した。

射精された瞬間、
わたしも腰砕けになるほどのアウメント
気を失いかけて必死で便器にしがみつく。

あはっ



はあ..
中出しで
イッチャったあ



もっとあ..
もっとおままだいって
欲しいいよあ



しばらく膣内の余韻を楽しんだあと、
彼がおちんぼを引き抜くと生暖かい精子があふれ出し
太ももを伝い流れ落ちる感触に身震いした。

また、男のトコに腫れ出ちゃった..

今日は学院ではなく、近くの海洋公園にある
男性用公衆トイレに男子生徒たちによって
連れられていられた。

あっ
あぁ...

布地の少ないスケスケのいやらしい下着を着せられ
目隠しをされて(何かお腹に落書きがされてた)
ひとり公衆トイレに置き去りにされる。

いーいG#K#K#J#
めちやくちさい
叩かれちゃうのめ...♡

しがし、わたしは恐怖感よりもこの異常な状況に
さらに興奮と期待を高めてしまうのだった。

やだ...おねだり汁あふれてきちやった♡

いまままでは誰かに見られてしまう...
そでいしんたしんな台所ではきくと
通りがかりの見ず知らずの男に
叩かれてしまうだろう。



そうするうち
んが入ってくる気配がする。

うほほっ！

エロい身体しとんなあ…
こんな場所で男漁りとは
とんだ変態やお、おねえちゃん

一瞬驚いたようだったが、すぐに口を閉じた声で
話しかけながら近づいてくると目隠しを取り
そして下着を脱いで全裸になるよう要求してきた。

わしがたっぷり
相手したるさかいな

下着を脱いで隠すものなくなったわたしの身体を
品定めするかのようにつめつめつから、おっぱいやお尻
おまんこをミニズが言うような手つきで撫でまわす。

生涯精液使
です
↓

っっ…

なんなら、わし専用の肉便器に
してやってもええで
まずは味見させてもらおか？

さらに唇を奪われ、舌を絡めて
たっぷりとヨダしを飲まされた。

50過ぎの頭の禿げあがった
お腹もたっぷりと出た
嫌悪感を抱かせるオヤジ…



彼は小便器の前に立つとわたしに股間をニホして
用を足すためにハ添えするよう命じる。

ああ…すいこ
おっきい…♡

窮屈なうに膨らんだスポンのジッパーを下ろし
パンツの紐を開けるとすずかに大きく膨らんだ
おちんぼが勢いよく飛び出てくる。

あきらがに学生たちとは違う
使い込まれた浅黒く醜悪で卑猥なその形に
すぐに魅入られてしまった。

恐る恐る手を添え、節くれ立ったちんぼを優しく扱くと
まるでそれ自体が生き物であるかのようこのたうつ。

わたしは聞き分けのない赤子をあやすように
夢中でお世話をする。

そんなわたしの尻尾を楽しまながら
彼はわたしのおっぱいを手で伸ばし揉み遊ぶ。



溢れ出す先走り汁の臭いやおっぱいを乱暴にこね回す大きな手の感触が麻薬のようにわたしの意識を痺れさせ股間を濡らしてしまう。

やがて、おちんぼがひと際大きく震えたあと大量の精子が爆発したような勢いで飛び出し、わたしのおっぱいに降り注いだ。

あっ♡

むせ返るような精子のニオイと、ねばついた粘液を浴びただけでわたしは軽くイッてしまった。

彼に促されることなく、わたしは丁寧に、おちんぼの睨り汁を吸出し、舐めとってキレイに後始末をする。

あっ♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡
しゅーん...
せいしゅーん...
あっ♡

そして上回っかいて彼を見あげ、おちんぼが欲しいとおねだりをした。



こんなかわいい娘が肉便器とはすげえ…

いつの間にか4、5人の男たちが取り囲むように
わたしたちの痴態を見物していた。

あっあっ
んあっ
だめええ

奥まで届いてっ
しゅーいよあ
ひゃうっ

そんな中、わたしは彼に抱え上げられ
抱き合うような形でおちんぼを挿入される。

男たちから「おおっー！」
という下卑た歓声が上がる。

おおおっー！

「たまんこの感触や
若い女の膣は久しぶりやで

わしらの妊娠セックス
皆さんにたっぶり
見てもらいな

彼はむしろ周りの雰囲気を楽しむように
わたしに卑猥な言葉を囁きながら
はげしく抽送をはじめ。

わたしも見ず知らずの男に抱かれ、
それを多くの男達に見られてるという
異常な状況に被虐心を大いに刺激されていた。

えろい乳しとるなー

たまんねえ…

学生の力任せのセックスとは違い、巧みに緩急をつけた腰の動きと女の強い部分を知り尽くした性技にわたしは完全に身も心も彼のモノになってしまっていた。

はやく代われ、オヤジ!

すげえエロ顔・たまんねえ

だらしなくアへ顔をせうし、彼のなすがままに自らも腰を振り肌を合わせろ。全身で快楽を貪る。

イウ
イグうう

あつ・ああ
知らない男性に種付け
されちゃったあ

うおおっ
イクでえ

おらあつ
孕め孕めっ!

「層きつく抱きしめられ
密着を高めた刹那、彼のおちんぼが
私の膣に勢いよく射精する。」

彼は「一滴も漏らさない」というように
わたしの腰を押さえ、子宮の奥の奥まで
おちんぼをねじ込んで二度、三度と射精を繰り返す。

行きずりの男に中出しされて喜んでやがる

ひひ..
これで完璧にお前は
わしの女やな

男たちの歓声を遠く聞きながら、
わたしは見ず知らずの男の
肉便器にされた喜びに震えていた。

この女、犯してえ



それからわたしは、見物していた男たちに
順に代わる代わる犯された。

その後、最初の男にホテルに連れ込まれて
一晩中抱かれ、彼の肉便器になることを
誓って解放された。

あっあっ
ケツ穴で
イっう♡

目的はもちろん、男たちの公衆肉便所として
皆様のお相手をさせて頂くことだ。

あはっ♡
わあい...おちんぼ
大スキ♡

タカオ、ほな今日も
皆様にお前のいやらしい
肉穴使ってもらおか

便所 液精液 王
↓

彼は見ず知らずの男たちに汚されるわたしを眺め、
その後抱くことに異常な喜びを感じているようだった。

噂になっていっただろう、
トイレには血走った眼の男たちが
順番待ちの列を作っている。

そして、今日も彼の呼び出しで
例の公衆トイレに集まっている。



次の方…どうぞ♥

性処理用肉便器の
青樹々力オです♥

わたしのいやらしい
おっぱいでも、おまんこでも
お口でもお好きな場所に
射精して下さいね♥

排泄所
精液
です
↓

オシツ

オシツ

オシツ

オシツ

オシツ

オシツ



**BLUE
STEEL**



002

**"DREIFAHN IST DER SCHRITT DER ZEIT: ZOEGERND KOMMT
DIE ZUKUNFT HERGEZOGEN
PFEIL SCHNELL IST DAS JEITZI ENTFLOGEN EWIG STILL
STEHT DIE VERGANGENHEIT."**



TAKAO OF BLUE STEEL

KOTONOSYA 2014.08 MUTSUMI MASATO

Postscript

TAKAO OF BLUE STEEL

03

■おつがれさまです。琴乃舎からの9冊目になります。

引き続き「蒼き鋼のアルペジオ」での企画です。

TAKAO OF BLUE STEELもめでたく3冊目と言うことで、
今回はキャライラスト多めで行こう！

..というつもりだったのですが、いざ始めるとなかなか
一冊の本としてのコンセプトを決めきれず悩んだ末
色々描いている内に肉便器をまとめてしまっていました(;)
またいつものヒドイことしちゃったよ..すまんタカオさん。

しかし、描いたことのないキャラにも色々挑戦してみたく
生徒会メンバーやレパルス、琴乃なんかも描いてみました。
アルペジオは魅力的なキャラが多くて楽しいな~♪

また、締切直前のアワーズに初登場したヴァンパイアの
可愛さにやられ、本紙漫画白黒のみの色も不明の段階で
カラーイラスト化する暴挙に及んでしまいました(笑
ですんで今後、実際の色が発表され違ってもお許しくださいね。
ヴァンパイアもその最高にクールな我が無茶ぶりを
サムズアップで評価してくれているものと思います。

←←←

それではまた次の新刊でお会い致しましょ~♪

このたびはお買い上げ頂き、誠にありがとうございました!!

(むつみまさと 2014.08.17)



誌名/	TAKAO OF BLUE STEEL 03
発行日/	2014.08.17 初版発行
発行元/	琴乃舎
著者/	むつみまさと
連絡先/	http://mutsumimasato2010.blog71.fc2.com/
CGスタッフ/	ちーぼう
販売スタッフ/	六花梨花 ちーぼう
印刷製本/	サンライズパブリケーション株式会社

禁/無断転載・複製・複写・アップロード



KOTOODSYA

**BLUE
STEEL**



2014.08 MUTSUMI MASATO